

第3章 元総社蒼海遺跡群内における 7～10世紀の住居跡分布

1 目的

平成12年（2000年）から継続して刊行されている『元総社蒼海土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』をもとに掲載されている住居跡を、年代別ごとに集成を行なうことによって、上野国府推定地一帯の土地利用の解明と国庁をはじめとする施設ゾーンの絞りこみを目的とする。

2 使用報告書名

1) 元総社蒼海遺跡群①～⑯ 15冊

（総社閑泉明神北遺跡：平成12年3月刊行～元総社小見内X遺跡：平成17年3月刊行）

2) 元総社蒼海遺跡群 (1)～(37) 34冊

（平成18年3月～平成24年3月刊行）

以上49冊 ※蒼海①、蒼海 (1) と省略して記載

3 分布図作成方法

- (1) 上記報告書49冊から住居跡を抽出し、台帳を作成
- (2) 住居跡を7世紀第1四半期から25年毎に10世紀まで分類し、集計表を作成
- (3) 前橋市現形図 (41-3・42-4・51-1・51-2) スケール1/2500 (A2版) を用意し各報告書の調査区枠をトレース
- (4) 各世紀毎に分布を作成。
- (5) トレンチ内の住居跡数に応じて●を落とし込む。
●… 1～10軒

4 まとめ

(1) 7世紀 259軒調査

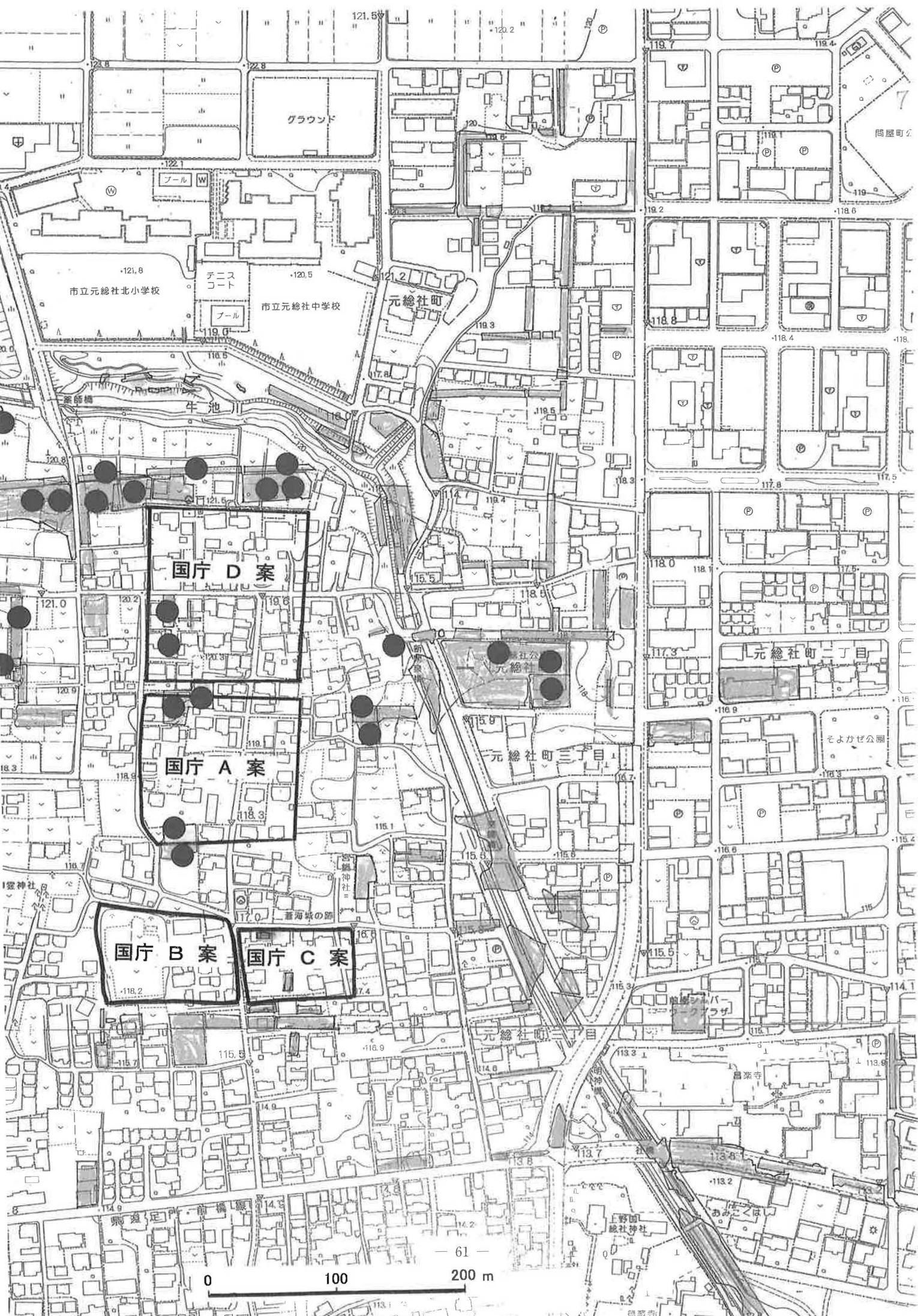
調査された区域から住居分布をみてみると、国府推定区域北西部分の蒼海遺跡群⑬⑯トレンチ及び蒼海遺跡群(6) (15) (18) 以外では、分布が見られる。特徴としては、国府推定区域北部蒼海遺跡群(12) トレンチの住居跡が26軒と多いことである。内訳では、第3・第4半期の住居跡が149軒と57.5%を占める。国庁推定地A案の西側、元総社蒼海遺跡群(14)～5調査区では11軒の住居跡が検出された。また、この調査区には8・9・10世紀の住居跡が検出されていない。

(2) 8世紀 260軒調査

調査された区域から住居分布をみると、分布域は広がり、国府推定区域北西部分の蒼海遺跡群⑯ (6) トレンチ以外では分布している。7世紀で記載した蒼海遺跡群(12) トレンチの住居跡は21軒と微減となる。内訳は、第

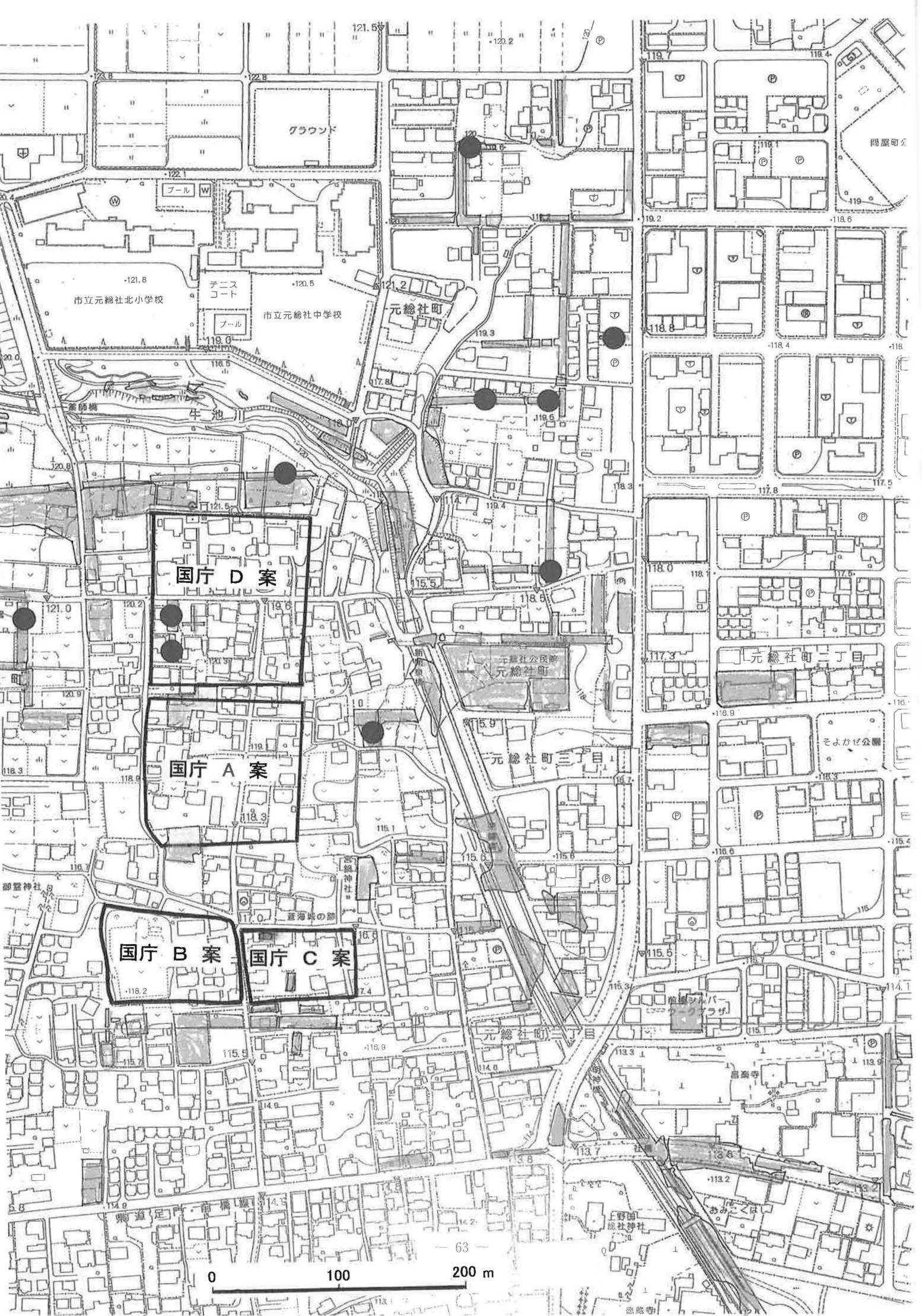
7世紀の住居跡分布図





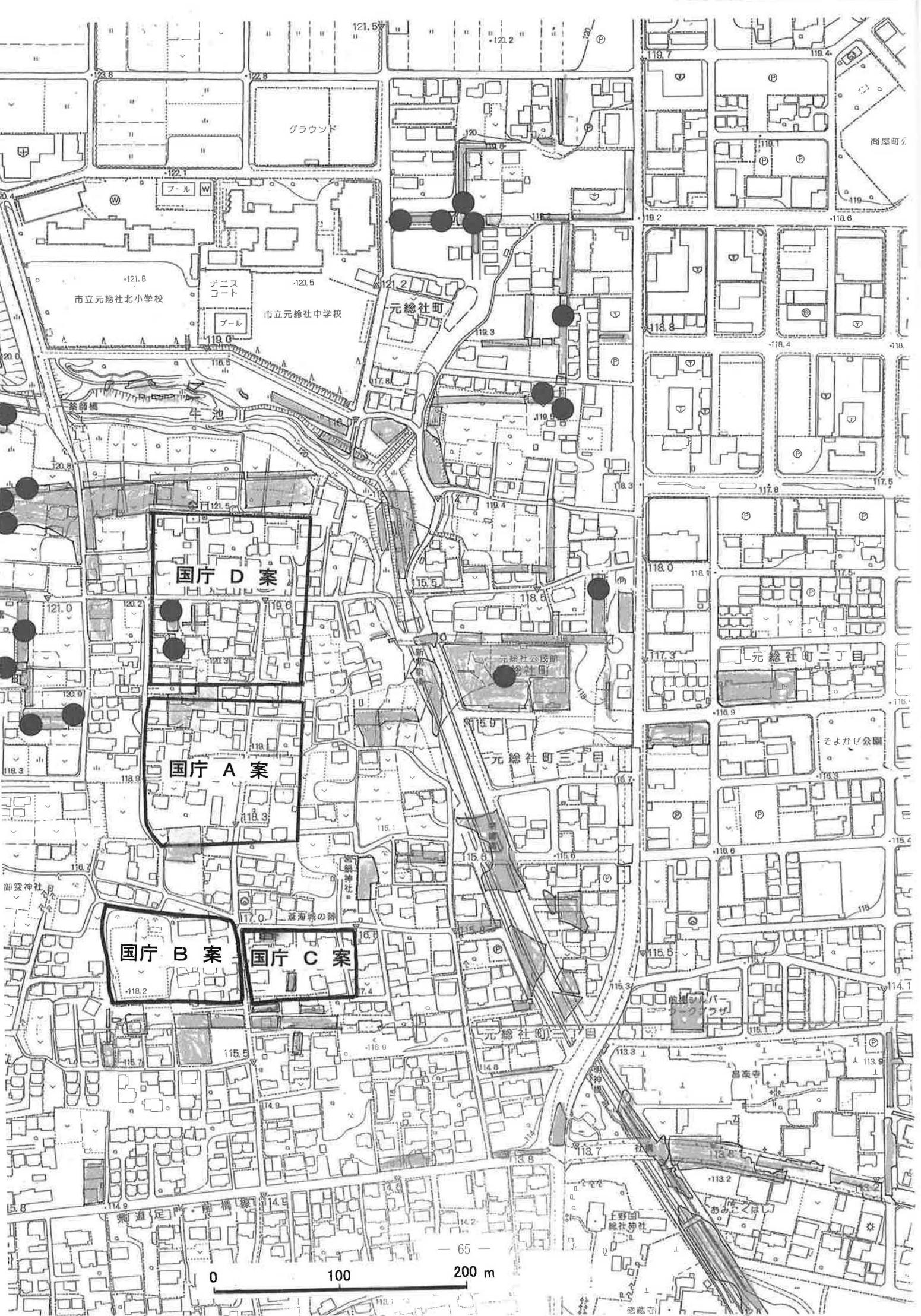
8世紀の住居跡分布図





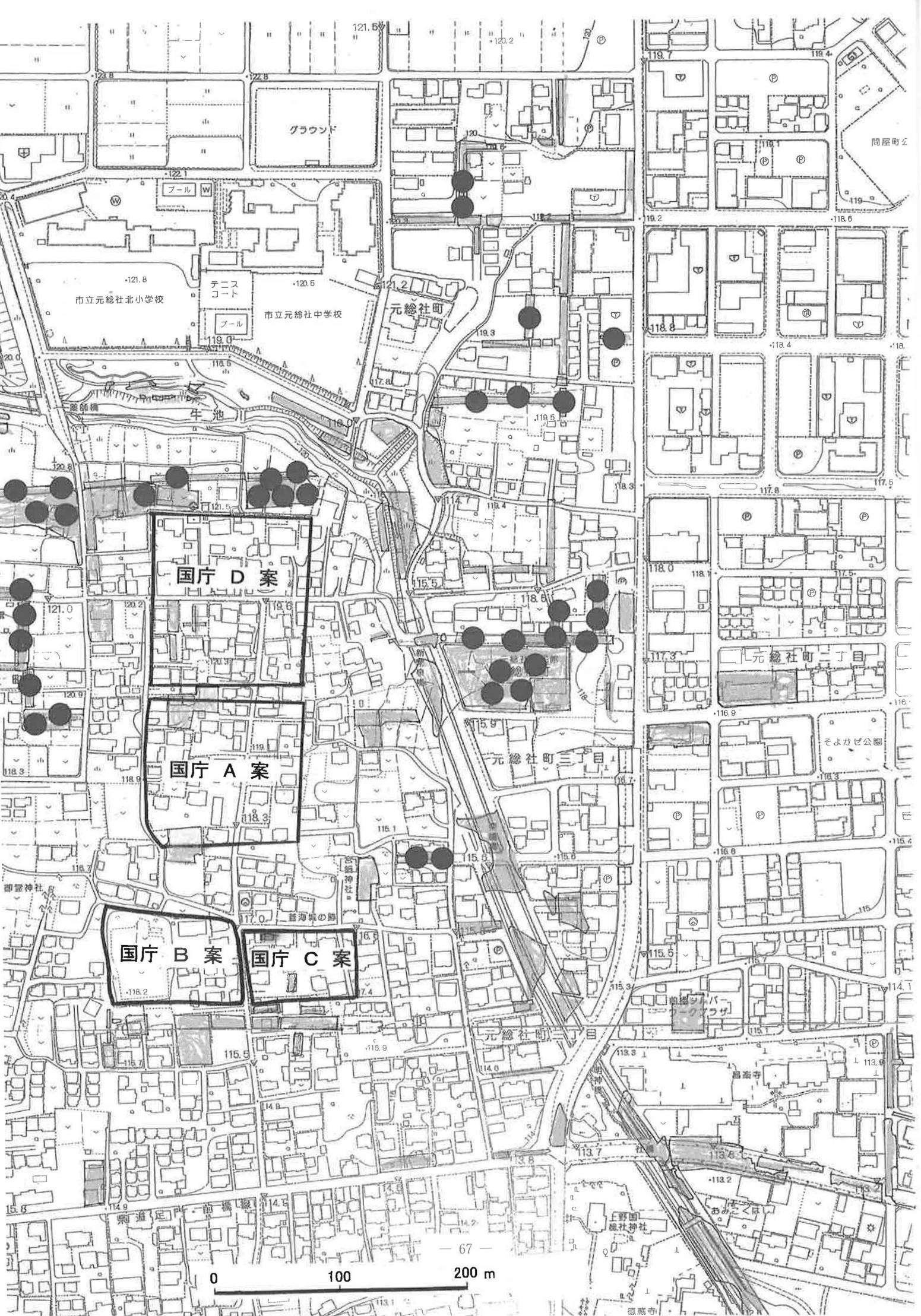
9世紀の住居跡分布図





10世紀の住居跡分布図





1・2四半期が153軒、第3・4四半期が107軒である。特徴としては、国府推定区域西端で鳥羽遺跡から北北東の蒼海⑭調査区で11軒の住居跡が検出された。

(3) 9世紀 403軒調査

7・8世紀に比べて140軒以上の増加である。9世紀の特徴としては鳥羽遺跡の北北東であり、上野国分尼寺跡西側から西南西調査区（トレンチ）からの住居跡が増加することである。8世紀代の住居跡と比べると蒼海遺跡群⑤で3軒から16軒の大増、蒼海遺跡群⑨で5軒から14軒の倍増、蒼海遺跡群⑭で11軒から24軒の倍増、蒼海遺跡群（3）で3軒から28軒の大増、蒼海遺跡群（26）—3区で9軒から10軒の微増となる。7・8世紀でふれた蒼海遺跡群（12）の住居跡は減少し、15軒となる。

(4) 10世紀 489軒調査

国府推定区域内のほとんどの調査区（トレンチ）から、住居跡が検出されている。10世紀の特徴としては、10世紀第3・4四半期での国府推定地東側蒼海遺跡群（9）（10）と国府推定地北側蒼海遺跡群（37）—1区での住居跡の増加である。蒼海遺跡群（9）（10）では34軒、うち第3・4四半期で28軒である。蒼海遺跡群（37）—1区では36軒、うち第3・4四半期で32軒である。

5 考 察

今回の作業は、上野国府成立は己巳の変（645年）後の7世紀後半と推定し、7世紀から10世紀の住居跡を集成した。国府発見の手がかりとなる観点から、それぞれの世紀毎に記述することとした。

7世紀の住居跡の分布から見ると、国府推定地北側・西側をL字型で囲むように多くの住居跡がある。近接東側に牛池川が流れている。

8世紀は、鳥羽遺跡で発見された国府の神社跡からみて北東から北北東の住居跡が7世紀に比べて増えている。これは、国府の神社跡及び上野国分尼寺から近いという地理的条件から、居住する人が増えたのかもしれない。

9世紀は、国府推定区域西側部分で8世紀に比べさらに住居跡が増え、国府関連施設が建設されたことがうかがわれる。

10世紀の住居跡の分布から、国府推定地の北側と東側に住居密集地域があらわれる。全時代の住居跡の分布からみて、国府推定地A・B・C・D案共候補と言える。ただ、国府推定地北側調査区（トレンチ）で、7・10世紀には多くの住居跡が検出されていながら、8・9世紀には、ほとんど検出されていないことを考えると、国府推定地の中で南側に位置するB・C案がより有力な推定地と考えられる。また、全時代をとおして問題なのは、国府推定地西側については、8・9・10世紀と住居跡がほとんどなくなってしまうことである。地形の高低差により、ある段階で地表面が削平されてしまい住居跡が検出できないのかもしれない。国府推定地西側は、まだ調査区が少ないので、今後の発掘調査の成果により集落の変遷及び国府推定地の絞り込みができると考えている。

Tab.10 報告書リスト

番号	書名	省略書名	発行年月日	発行機関
1	元総社蒼遺跡群①総社閑泉明神北遺跡	蒼海遺跡群①	2000年3月	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
2	元総社蒼遺跡群②元総社小見遺跡	蒼海遺跡群②	2001年3月	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
3	元総社蒼遺跡群③総社甲稻荷塚大道西遺跡・総社閑泉明神北II遺跡・総社甲稻荷塚大道西II遺跡	蒼海遺跡群③	2002年3月	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
4	元総社蒼遺跡群④元総社小見内III遺跡	蒼海遺跡群④	2002年3月	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
5	元蒼遺跡群⑤元総社小見II遺跡	蒼海遺跡群⑤	2003年3月	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
6	元蒼遺跡群⑥元総社小見III遺跡・元総社草作V遺跡	蒼海遺跡群⑥	2003年3月	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
7	元蒼遺跡群⑦総社甲稻荷塚大道西III遺跡・総社閑泉明神北III遺跡・	蒼海遺跡群⑦	2003年3月	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
8	元蒼遺跡群⑧元総社小見内IV遺跡	蒼海遺跡群⑧	2003年3月	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
9	元蒼遺跡群⑨元総社小見IV遺跡	蒼海遺跡群⑨	2004年3月	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
10	元蒼遺跡群⑩元総社小見V遺跡 元総社小見内VI遺跡	蒼海遺跡群⑩	2004年3月	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
11	元蒼遺跡群⑪元総社小見内VII遺跡	蒼海遺跡群⑪	2004年3月	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
12	元蒼遺跡群⑫元総社小見内VIII遺跡・総社甲稻荷塚大道西IV遺跡	蒼海遺跡群⑫	2004年3月	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
13	元蒼遺跡群⑬元総社小見内IX遺跡・総社閑泉明神北V遺跡	蒼海遺跡群⑬	2005年3月	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
14	元蒼遺跡群⑭元総社小見VI遺跡	蒼海遺跡群⑭	2005年3月	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
15	元蒼遺跡群⑮元総社小見内X遺跡	蒼海遺跡群⑮	2005年3月	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
16	元総社蒼遺跡群(1)	蒼海遺跡群(1)	2006年3月	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
17	元総社蒼遺跡群(2)	蒼海遺跡群(2)	2006年3月	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
18	元総社蒼遺跡群(3)元総社小見VII遺跡	蒼海遺跡群(3)	2006年3月	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
19	元総社蒼遺跡群(4)	蒼海遺跡群(4)	2006年3月	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
20	元総社蒼遺跡群(5)	蒼海遺跡群(5)	2006年3月	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
21	元総社蒼遺跡群(6)	蒼海遺跡群(6)	2006年3月	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
22	元総社蒼遺跡群(7)	蒼海遺跡群(7)	2006年3月	前橋市埋蔵文化財発掘調査団

第3章 元総社蒼海遺跡群内における7～10世紀の住居跡分布

番号	書名	省略書名	発行年月日	発行機関
23	元総社蒼遺跡群(8)	蒼海遺跡群(8)	2007年3月	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
24	元総社蒼海蒼遺跡群(9)・(10)	蒼海遺跡群(9)(10)	2007年3月	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
25	元総社蒼海遺跡群(11)	蒼海遺跡群(11)	2007年3月	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
26	元総社蒼海遺跡群(12)	蒼海遺跡群(12)	2007年3月	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
27	元総社蒼海遺跡群(13)	蒼海遺跡群(13)	2008年3月	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
28	元総社蒼遺跡群(14)・(19)	蒼海遺跡群(14)(19)	2008年3月	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
29	元総社蒼遺跡群(15)	蒼海遺跡群(15)	2008年2月	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
30	元総社蒼遺跡群(16)	蒼海遺跡群(16)	2008年2月	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
31	元総社蒼遺跡群(17)	蒼海遺跡群(17)	2008年3月	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
32	元総社蒼遺跡群(18)	蒼海遺跡群(18)	2008年3月	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
33	元総社蒼遺跡群(20)	蒼海遺跡群(20)	2009年3月	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
34	元総社蒼遺跡群(21)	蒼海遺跡群(21)	2009年3月	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
35	元総社蒼遺跡群(22)	蒼海遺跡群(22)	2009年3月	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
36	元総社蒼遺跡群(23)	蒼海遺跡群(23)	2009年3月	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
37	元総社蒼遺跡群(24)	蒼海遺跡群(24)	2009年3月	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
38	元総社蒼遺跡群(25)	蒼海遺跡群(25)	2009年3月	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
39	元総社蒼遺跡群(26)	蒼海遺跡群(26)	2009年3月	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
40	元総社蒼遺跡群(27)	蒼海遺跡群(27)	2010年3月	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
41	元総社蒼遺跡群(28)	蒼海遺跡群(28)	2010年3月	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
42	元総社蒼遺跡群(29)	蒼海遺跡群(29)	2010年3月	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
43	元総社蒼遺跡群(30)	蒼海遺跡群(30)	2010年3月	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
44	元総社蒼遺跡群(31)	蒼海遺跡群(31)	2010年12月	前橋市教育委員会

番号	書名	省略書名	発行年月日	発行機関
45	元総社蒼遺跡群(32)(33)	蒼海遺跡群(32)(33)	2011年3月	前橋市教育委員会
46	元総社蒼遺跡群(34)	蒼海遺跡群(34)	2011年3月	前橋市教育委員会
47	元総社蒼遺跡群(35)	蒼海遺跡群(35)	2011年2月	前橋市教育委員会
48	元総社蒼遺跡群(36)	蒼海遺跡群(36)	2011年3月	前橋市教育委員会
49	元総社蒼遺跡群(37)	蒼海遺跡群(37)	2012年3月	前橋市教育委員会